

## 第5回 那賀川流域治水協議会 議事概要

1. 日時：令和4年2月28日(月) 10:00～11:45

2. 場所：Web 会議形式(Microsoft Teams)

### 3. 協議会構成員

阿南市 市長 表原 立磨

小松島市 市長 中山 俊雄

那賀町 町長 坂口 博文 (代理：副町長 峯田 繁廣)

徳島県 県土整備部長 貫名 功二

徳島県 農林水産部長 森口 浩徳 (代理：農林水産部農林水産基盤整備局長 村山 直康)

徳島県 南部総合県民局県土整備部長 徳永 雅彦

徳島県 南部総合県民局農林水産部長 吉田 良

中国四国農政局 那賀川農地防災事業所長 加藤 公平

四国森林管理局 徳島森林管理署長 島田 喜代司

(代理：森林技術指導官 丸田 泰史)

森林整備センター 徳島水源林整備事務所長 西峯 一志

気象庁 徳島地方气象台長 明田川 保

四国地方整備局 那賀川河川事務所長 山本 卓男

徳島県企業局 施設基盤整備室長 細岡 卓也 (オブザーバー)

(代理：総合管理推進センター次長 岸上 正幸)

四国電力(株) 徳島支店技術部次長 加地 貴 (オブザーバー)

### 4. 配付資料

第5回 那賀川流域治水協議会 議事次第

(資料1) 那賀川流域治水協議会 規約

(資料2) これまでの取り組みと今後の進め方

(資料3) 那賀川水系流域治水プロジェクト

(資料4) 流域治水プロジェクトの充実

(資料5) 流域治水対策の推進に係る主な支援事業

### 5. 議事

1) 規約改定 構成員の追加等 (徳島地方气象台長)

2) これまでの取り組みと今後の進め方、那賀川水系流域治水プロジェクトの実施状況、今後の検討項目について、協議を行った。

3) 協議会員からの意見等

## 6. 主な意見

### 那賀川河川事務所（山本）

- ・各治水関係の部署については、着実に対策が進められている。農林水産部の部署についても、人の命を守るということは本来の目的ではないと思われるが、関係機関において命を守るための取組が広がり、田んぼダムやため池の活用等、具体的な対策の方向性が議論されてきており、那賀川流域にも展開することを念頭に置いて検討されていることに対してお礼を言いたい。
- ・阿南市の取組の被害対象を減少させるための対策として、過去の浸水痕跡を示した洪水ハザードマップについては、例えば、着色されている加茂地区において、平成 26 年には堤防が無かったことで図に示すような氾濫が生じ、痛ましい被害が発生したが、堤防ができたからといって被害が無くなるということではなく、内水や堤防の決壊等、いつ浸水してもおかしくないということを念頭にまちづくりを考えるべきであるという阿南市長の趣旨に賛同する。
- ・小松島市の取組のため池監視カメラについて、ため池は地震や大雨の際、決壊している事例が全国であることから、非常に有意義であると思う。将来的には、ため池の管理という観点でも幅広に検討し、県と連携の上、進めていくことで非常に良い対応ができると思う。
- ・日頃から我々の防災業務においては、気象台の発表する降雨データ等を頼りに様々な対応を行っている。10 年前 20 年前と比べて予測精度が向上していることを感じており、これまでの精度向上に関する気象庁の取組に対して感謝している。長安ロダム上流域等、狭い範囲での予測精度が高まると更に人の命を守ることに繋がっていくと思うので、今後も協力・支援をお願いしたい。

### 徳島県農林水産部（村山）

- ・農林水産部の流域治水での取り組みは、市町村や土地改良区、農林水産業を営む方の理解があることである。啓発も含めて推進できればと思うので、ご指導をよろしく願いたい。

### 那賀川河川事務所（山本）

- ・河川管理者の事業は時間がかかり、効果がなかなか発現できない。できるところから進んでいくことで何か救われるということが大いに期待できるので、連携して今後ともよろしく願いたい。

### 徳島気象台（明田川）

- ・気象庁として精度向上は終わることのないミッションである。自然相手であるため 100%分かることはないが、少しずつでも精度を上げて、ピンポイントで物事をしっかりと把握し、的確に伝える。四国で線状降水帯が発生した時も効果はあったとは思いますが、しっかり状況を伝えられるほどの精度でできたかという点必ずしもそうではなかった。今後も気象庁としてしっかり取り組んでいきたい。

## 7. 結果等

- ・ 構成員の追加等について了承。
- ・ 那賀川水系流域治水プロジェクトについて了承。
- ・ 流域治水プロジェクトの充実について了承。
- ・ 事業効果の見える化及び指標については、資料が整い次第、各機関で確認を行う。

## 8. その他

- ・ 流域治水プロジェクト及び流域治水プロジェクト充実については、3月末に公表予定。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席者を最小限にし、関係者限定で YouTube にて配信を実施。

以上